



会報 第73号
平成30年1月発行

新構造社

一般社団法人 新構造社
〒111-0032 東京都台東区浅草5-33-1
電話・FAX 03-5808-9976
http://shinkozo.or.jp
E-mail shinkozo@wa3.so-net.ne.jp

掲載内容

- ・第89回新構造展報告
- ・第90回展記念事業
- ・第90回記念新構造東京展
- ・会議報告（理事会・合同委員会）
- ・各部報告（2017年度総括と今後の抱負）
- ・支部報告（支部活動状況・支部展等）
- ・特集 ・トピックス ・お知らせ
- ・名簿



第89回新構造展

年頭のご挨拶

理事長 中谷 時男

新年あけましておめでとうございます。

皆様には心して新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年は、6月に第90回新構造展を迎えます。その前の2月には、国立新美術館（六本木）において会友以上の選抜者展と一般出品者の公募を併せた第90回記念新構造東京展を開催いたします。新年早々から皆様には大変忙しくなりますが、楽しい展覧会の始まりでもあります。制作にあたっては新構造社の精神である固まった作風に囚われない自由な作品の展覧を期待しております。

90回展を迎えるにあたり、新構造社80年史を見直してみました。270頁にわたる膨大な貴重な資料であり制作にあたった先生方にあらためて敬意を表したいと思えます。

出品数は、70回展で1000点、80回展で800点でしたが90回展では、89回展を踏まえますと500点ほどが想定されます。多様な社会現象によることも含め、美術愛好者の急激な減少が公募団体にも強く影響していると思われる。

少子高齢化が危惧されていますが、美術界の高齢者は皆、経験という財産で武装した強者であります。年を重ねれば、知人、友人も少なくなり、活動の範囲も狭くなり新しい人脈をつくる気もなくなってきます。美術界では成熟して徳を得るのではなく、老いてなお成長していく、自分を向上させるため努力する、それが老成の本質であります。新構造社が、そういう場所であってほしいと願っております。

私は、今75歳、チトたよりないと思っておりますが「人は軽きがよし」と蓮如の言葉にもありますが、神輿は軽いほうが良いということで理事長を務めています。

第90回展を迎えるにあたり、なお成長していく作品を期待しています。

平成30年 新春

第89回新構造展報告 1

1. 概況

第89回新構造展が東京都美術館において平成29年6月23日～30日開催されました。一般の方も含め約530点の作品が展示され、充実した会場となりました。約9000人の来場者で連日賑わい、盛況のうちに終わることが出来ました。これも5部門による総合展としての伝統の力と出品者一人ひとりの創作への精進の賜と感謝申し上げます。



今回の会場は本年から例年9月の会期が往年の6月に戻り、展示室が1階のワンフロア4展示室になり、本会の特徴である自由な表現でバラエティーに富む作品が新しい部屋割りの工夫によりすばらしい展示室となり好評でした。

また、各部で行われたギャラリートーク・一般講評も好評で大勢の参加者を集め大変盛況でした。更に今回から総理大臣賞が復活して授賞式に華を添えました。

来年はいよいよ「第90回記念新構造展」となります。会としてもイベント等予定致しておりますが、より一層充実した作品を結集した展覧会と致したく、会員皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

(事務局長 齊藤 猛)



2. 第88回新構造展受賞者名簿

外部賞

内閣総理大臣賞	絵画部	平	島	昭	久
文部科学大臣賞	絵画部	進	藤	正	和
厚生労働大臣賞	工芸部	西	出		眞
東京都知事賞	絵画部	南	出	豊	樹
損保ジャパン日本興亜美術財団賞	絵画部	近	藤	瑞	穂

新構造賞

新構造賞	絵画部	岩	澤	秋	弘
新構造賞	写真部	白	石		荘

功労賞

功労賞	工芸部	中	村	き	よ
-----	-----	---	---	---	---

特別賞

三村賞	絵画部	市	川	賢	次	三枝賞	絵画部	星	川	誠	子
何徳賞	絵画部	栗	原		豊	清浦賞	絵画部	濱	口	憲	子
本目賞	絵画部	甲	斐	君	江	秋山賞	版画部	小	田	悦	子

絵画部会員賞

会員賞・東洋クロス賞	内	田	雅	敏	世界堂賞	三	浦	康	栄
会員賞・ホルベイン工業賞	松	田	拓	敏	東美賞	小	比	賀	正
会員賞・クサカベ賞	井	口	直	也	彩美堂賞	大	濱	内	敬
会員賞・マツダ油絵具賞	沖	政	長	公	テルラ賞	阿	濱	田	芳
会員賞・ターレスジャパン賞	山	根	敏	武	クサカベ賞	阿	保		久

絵画部準会員賞

奨励賞	西	舘	勝	義	奨励賞	丈	野	栄	三	会友奨励賞	長	澤	由
奨励賞	村	中	恵	子	奨励賞	高	橋	光	子	会友奨励賞	増	山	政
世界堂賞	百	本	直		奨励賞	上	杉		学	一般奨励賞	渡	邊	治
キャンパス青山賞	穂	積		彰	奨励賞	東		悦	子	一般奨励賞	兼	田	ひと
絵画部会友賞					版画部賞					一般奨励賞	豊	田	通
奨励賞	高	橋	眞	司	会員賞	石	黒	妙	子	ふじや賞	國	生	真
彩美堂賞	千	光	道	志	一般奨励賞	田	中	三	千	氣生堂印刷所賞	阿	部	美
絵画部一般賞					彫刻部賞					写真部賞			
奨励賞	小	川	明	美	会員賞	大	河	隆	則	写真撰賞	牧	野	匡
マツダ油絵具賞	橋	詰	真	由	会友奨励賞	小	田	切	恵	会員賞	平	松	一
絵画部小品部門賞					一般奨励賞	湯	尾	賢	嗣	準会員奨励賞	折	川	文
最優秀賞	小	林	ツ	ネ	工芸部賞	瀬	谷	慶	重	会友奨励賞	小	菅	尚
優秀賞(テルラ賞)	春	沢	雄	二	工芸撰賞	横	尾	元	子	一般奨励賞	松	浦	洋
奨励賞	佐	藤	輝	昭	会員賞	上	海	み	ね	一般奨励賞	吉	永	安
奨励賞	山	田	富	久	会員賞	小	岩	井	永	茂原印刷賞	庄	子	和
					準会員奨励賞					写真部賞(一般)	吉	田	和

第89回新構造展報告 2

89回展受賞のことば



悠久の集落



Musa S 80



那智の火祭



兄妹

内閣総理大臣賞
平島 昭久 (絵画)
中世の構造物を描いて15年、「悠久の美」表現を求め、特にマチュールを追及、やっと認めていただいたかの感。

文部科学大臣賞
進藤 正和 (絵画)
イタリア留学10年、帰国後は専ら中世、ルネッサンス風の人物を中心に描いてきました。今回は「シンプルに」を心がけました。

東京都知事賞
南出 豊樹 (絵画)
和歌山の伝統文化を描いて十数年、「那智の火祭」は感情と臨場感を大切に描きました。その成果を認められ、嬉しい一言です。

損保ジャパン日本興亜美術財団賞
近藤 瑞穂 (絵画)
感情や物語を絵に表現するのはまだまだ難しく試行錯誤を重ねております。この度はそんな部分を評価いただけたと喜んでおります。



刻のかたみ



霧水舞う



線刻文大壺“蕾”

新構造賞
岩澤 秋弘 (絵画)
「我以外皆我師也」特定の師を持たない私は、皆様からの貴重な意見を師と仰ぎ今日まで描いてきました。感謝。

新構造賞
白石 荘 (写真)
私は自然が好きだ。四季折々の風景、季節と時間により無限の変化がある。そんな出会いと受賞に感謝です。

厚生労働大臣賞
西出 眞 (工芸)
線と面、面と立体、集合と拡散を線刻文のテーマとして、制作しています。賞の名に恥じぬよう、今後も精進します。

3. 第89回展主要データ

展示作品数	絵画部	版画部	彫刻部	工芸部	写真部	合計	前年比
展示作品数	301	23	14	91	105	534	△50
会員等展示点数	253	21	9	65	77	425	△35
入選点数	48	2	5	26	28	109	△15

会員等展示者	絵画部	版画部	彫刻部	工芸部	写真部	合計	前年比
理事・監事・委員	44	3	2	5	4	58	18
顧問	2					2	△1
遺作	2					2	1
会員	167	11	3	20	23	224	△22
準会員	27	1	0	11	10	49	△20
会友	11	0	1	13	14	39	△7
一般・小品	16・32	1	2	22	22	95	△3
合計	301	16	8	71	73	469	△34

4. 推薦者名簿

絵画部会員推薦 (15名)

高橋 登穂 積 彰 佃 日出雄
神田 昭夫 筒井 恭子 松本 幸吉
関谷 綾子 木佐木 卓郎 高野 千夏子
百本 直子 横張 金吾 村中 恵子
末田 初太郎 西館 勝義 利根川 みちよ

絵画部準会員推薦 (6名)

森 茂子 小野口 和代 千光士 道志
船津 雅子 高橋 眞司 滝 芳江

絵画部会友推薦 (12名)

湯浅 まつ代 小川 明美 尾崎 禮子
大月 二 久保 敏子 岡島 善夫
斉藤 敏子 橋詰 真由美 渡辺 恒博
丹野 朝二 濱田 利子 岡本 洋子

彫刻部準会員推薦 (1名)

小田切 恵子

彫刻部会友推薦 (1名)

湯尾 賢嗣

工芸部会員推薦 (1名)

井上 由美

工芸部準会員推薦 (3名)

露木 紀代美 長澤 由美子 原木 孝子

工芸部会友推薦 (3名)

久保田 直子 高橋 正子 阿部 美穂

写真部会員推薦 (4名)

新井 房子 内田 寛 庄子 和子
佐野 秋生

写真部準会員推薦 (5名)

荒井 文治 卯木 郁朗 小菅 尚則
果 音 柴崎 郁三

写真部会友推薦 (8名)

猪狩 宣夫 斉藤 重雄 高田 君子
松浦 洋 早川 幸夫 古屋 幹一
松本 浩直 吉田 和夫

5. 第89回展色紙等寄贈者

絵画部：古川泰司、中谷時男、瀧川 隆、越後瑤子、
作山隆一、青木和江、川邊和子、高橋美奈子、
田辺直美、亀ヶ谷豊

版画部：小田悦子、工芸部：中村きよ

以上12名32点の寄贈が有りました。会期中の有料入場者に「くじ引き」頂き、当選者に差し上げ毎年喜ばれています。第90回展にでもご寄贈のほど宜しくお願いいたします。

新構造第90回展記念事業(概要) 1

新構造社は、2018年6月に大きな節目の第90回新構造展を迎えます。

この第90回展は、新構造社の皆様一人ひとりの記憶に残りまた公募展の中での存在感を高める記念展となるよう「第90回記念展事業実行委員会」を設置しました。

8月から各種イベントについて検討を進めてきましたが、愈々実行の準備段階となりました。そのイベント全体の概要についてご案内いたします。

本事業のコンセプトは90年の節目を契機として、所属メンバー、出品者が自信と誇りをもって参加する動機に繋げ、会の活性化を図ることを目的といたしました。

第90回記念実行委員会 委員長 斉藤 猛

記念事業<イベント>

1. 第90回記念新構造東京展
国立新美術館 2月21日(水)～3月5日(月)
選抜者展と公募展の併設展とする
2. 第90回記念新構造展
東京都美術館 6月23日(土)～6月30日(土)
 - (1) ギャラリートーク
東京都美術館会場 6月24日(日)
 - (2) 記念講演会
東京都美術館講堂 6月26日(火)
*長谷川博先生：東邦大名誉教授
*甲賀正雄氏：(株)クサカベ相談役
 - (3) 授賞式
東京都美術館講堂 6月26日(火)
 - (4) 祝賀会(感謝状、功労賞)
グリーンパーク 6月26日(火)
会費6千円、140名上限(当日参加不可、事前申込)
 - (5) 歴史展示会場設置(歴代表、著名作家他)
歴史年表、特別展示
 - (6) チャリティー小作
東京都美術館会場(4号以下)即売会
 - (7) 記念画集発刊
記念誌に代替する紙面編集とする。会友以上全員の掲載を基本とする。
90回展に限り、全面的にリニューアル、掲載料を増額させていただきます(詳細は別添「第90回展記念画集発刊のご案内」のとおり)。

I. 第90回記念新構造展について

1. 概要

第90回記念展として、前述の記念事業の実施。

なお、89回展と同様に会期は6月に開催、会場のフロア部屋割も一階全室となります。

2. 出品要項抜粋

- 会場 東京都美術館(上野公園)
- 会期 平成30年6月23日(土)～6月30日(土)

午前9時30分～午後5時30分

最終日は午後2時30分終了

平成30年6月15日(金)・16日(土)

午前10時～午後4時まで

(但し16日は午後3時まで)

■搬入日時

■出品種目

油彩・水彩・パステル・アクリル他・
版画・彫刻・工芸・写真
小品部門(別記)

■審査発表

平成30年6月20日(水)

■作品規格

〈絵画〉大きさ：一般 30号以上100号まで 3点まで
会友以上 30号以上130号まで 1点
会員以上 200号まで 1点

〈版画〉版種・大きさ：自由 2点まで

〈彫刻〉大きさ：自由 3点まで

床面積 1㎡ 300kg 以下

〈工芸〉種目：陶・染織・人形・漆・ガラス・伝承・
金工・木工・皮革・和紙絵・その他
2点まで、ただし着物は1点まで

〈写真〉大きさ：単写真：全紙以上全倍まで、

組写真：四切以上3点以上で構成

点数2点まで(組写真を含む)

■搬出日時

平成30年7月1日(日)

午前10時～午後4時まで

3. 小品部門出品要項(抜粋)

■作品種目

油彩・水彩・パステル・アクリル・
その他 6号～20号まで

■出品料

2点まで5,000円

■賞

優れた作品には最優秀賞、奨励賞などを授与します

■搬出

平成30年7月1日(日)

宅配便の場合：着払いにて返送

他は前記「出品要項」と同じ

新構造第90回展記念事業(概要) 2

II. 第90回記念新構造東京展について

1. 概要

これまで東京展はエキシビジョン展（競わない模範展示）として美術団体新構造社及び所属作家のステータス向上のため開催をしてきました。

今回は6回目の開催となり、前回までとは位置づけを異にし「第90回記念新構造東京展」として開催します。概要は「選抜者(理事、部長、支部長の推薦を受けて選出)展」と「一般公募」の併設展とし、今回に限り優秀作品に「第90回記念新構造大賞」他数点を表彰いたします。出品要項は既に送付しておりますが、概略は以下の通りです。

全国からできるだけ多くの出品者を募るため、遠方からの搬出入費について一万円程度を負担していただき、それ以上の費用について本部が負担をすることとしました。

第90回記念展に相応しい東京展となるよう奮って皆さまの出品をお待ちしております。

2. 出品要項抜粋

- 会場：国立新美術館
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2
- 会期：平成30年2月21日(水)～3月5日(月)

休館日 2月27日(火)

- 搬入日時：平成30年2月18日(日)
午前10時～午後4時まで
- 搬入方法：原則として業者またはグループ搬入。
※本部指定業者の場合、費用軽減措置適用（出品申込者に案内通知を行う）
- 出品種目：絵画（油彩・水彩・パステル・アクリル他）・版画・彫刻・工芸・写真
- 出品資格：選抜展は本部（選抜委員会）選出者。
公募展は一般の他、選抜者以外の会友以上の会員
- 出品手数料：20,000円（出品申込者には後日振込用紙を送付します）
- 作品規格
〈絵画〉50号以上200号まで1点
〈版画〉版種・大きさ：自由 2点まで
〈彫刻〉大きさ 自由2点まで、重量1.2t以下
〈工芸〉種目・大きさ 本展に同じ2点まで
ただし、着物は1点まで
〈写真〉種目・大きさ 本展に同じ2点まで
- 搬出日時 平成30年3月6日(日)
午前10時～午後3時まで

III. 第90回記念新構造支部展(予定)

支部	支部展予定	開催場所
岩手支部	2018.10.12～15	市民文化ホール
栃木支部	2018.9.15～9.19	那須野ヶ原ハーモニーギャラリー
埼玉支部	2018.7.24～8.29	埼玉県近代美術館
茨城支部	2018.3.27～4.2	県民文化センター
千葉支部	2018.4月上旬	千葉県立美術館

支部	支部展予定	開催場所
神奈川支部	2018.10月	川崎アートガーデン
長野支部	2018.3.27～4.1	ギャラリー 82
和歌山支部	2018.4.11～4.16	県民文化会館
広島支部	未定	広島県立美術館
香川支部	2018.2.6～2.11	高松市美術館

各部報告 1

絵画部

常務理事(展覧会委員長) 工藤 一二

第89回新構造展が6月23日から30日まで東京都美術館で例年通り開催出来ました。絵画、版画、彫刻、工芸、写真、小品を含め534点の展示となり昨年と比較すると50点ほどの減少となりました。

会場は今回から1階4棟を平面使用したことにより、展示や作業もスムーズに行われ来場者からも観易かったとの言葉も寄せられました。今後もより観易い展示に向け注意を払っていきたいと思います。

また、会期中、広島巡回展のため益村支部長、瀧川氏と受賞作を中心に彫刻を除く4部門から47点の作品を選考しました。広島巡回展では支部会員30名を加えた80点が広島県立美



術館において展示され、1,430名の来場者があり大変盛況であったとの報告がありました。

岩手支部は新支部長梅沢氏のもとで盛岡市民文化ホールで10月12日から開催され、11名と少数ではありましたが、各自3～4点を出品し支部展への意欲を感じました。梅沢支部長からは少人数でも地に足の着いた活動をしていきたいとの言葉を頂きました。

栃木支部展は栃木県総合文化センターにて開催されましたが、中谷先生(理事長)から一人ひとりの講評があり、支部会員から大変有意義な時間であったと感謝されました。来年から会場が改修工事になるため代替えとして大田原区民ホールで開催されます。

東京展については、来年第6回目を迎える事となり、今回は第90回新構造東京展として公募展に加え選抜者展との併設とし、新たな企画で行うこととしました。90回記念を迎えるにあたって、今後の新構造をどのような美術団体としていくのか、会員の意志と先人たちの思いを考え、どの様に継続していくか問われている展覧会と考えています。

各部報告 2

版画部

副理事長 谷田川 卓

新構造展は、絵画、版画、彫刻、工芸、写真5部門の合同展である。その中で一番新しい部が版画である。版画部は1978年（昭和53年）第50回新構造記念展で創設された。それ以前の版画は、絵画部に出品していた。創立時の主要メンバーは、前衛的版画グループ、集団「版」から参加した秋山静、谷田川卓、金子哲男、栃木から小山博、埼玉から青木照雄であった。秋山が代表となり、版画ブームと相まって新しい感覚の版画を意識的に発表した。日動画廊の版画グランプリ展に秋山、谷田川、矢山が入選（後、秋山はグランプリを受賞）本展だけでなく個展やコンクールに積極的に参加、外部との交流も深まり新構造版画部が他の美術団体からも注目され評価された。

版画部会員展を更に広めるために銀座の画廊で開催。昭和58年から平成20年（新構造80回記念展）まで26年連続して開催した。この版画部展は本展前に開催をし個々の作家を成長させ、充実した本展開催に繋がっている。使用した画廊は、七洋画廊、センターポイント画廊、ギャラリー小池、ギャラリー八重洲東京、すどう美術館であった。

設立から40年が過ぎ、構成部員は変わったが部の方向性や取り組みは変わっていない。作家が成長するための大事なことは、発表の場、競える仲間が存在。表現構成に積極的に挑む勇気と努力。自己反省と新たな目標の樹立。人間関係を大切に、協力する姿勢。本年第89回展をプレ90回展として検証。出品作品、作家一人ひとりが個々の特性を生かして取り組んでおり、完成度が高くする。

ギャラリートークは、自作の表現意図や取り組みを語ることで毎年出品者の大半が説明をし、制作の意識化を図り、第三者の鑑賞理解の補助とする。参観者40名は程でした。

懇親会はギャラリートークの延長として参加者を促し、出品作家が語り合う場面としたい。懇親会で飲食を共にしながら日々の創作活動や展覧会予定など有意義な時間を過ごし、連帯感や制作への意識を高め合う。

第80回展では新構造社の版画史を刊行した。第90回展ではこれまで実践し積み重ねた様々の経験を生かし、歴史的な重さの感じられる作品制作に努力する。（各自2点出品作を希望）



彫刻部

常務理事 関戸三郎

時が過ぎるのは早いもので第80周年もついこの間のように感じます。気がつくと89回も終了し「90周年」を迎える事となりました。

彫刻は、抽象、具象のバランスが良い感じではないかと会場を観ると思います。出品点数から見ると具象の方が多く思われますが、「構造社」時代の流れでしょうか？抽象も新人作家が大作に挑んでおり、大変頑張っております。歴史のある「構造社～新構造社」を受け継ぐ事は大きな重荷と感じま



すが、部員一丸となって制作に励めば近づける事は可能ではないかと思われます。

彫刻は体力、労力がついてまわりますので部員各位、身体には呉々も気をつけて制作活動に専念して下さい。

工芸部

常務理事 宮脇 豊子

「第89回展について」

第89回展は、出品者数71名、出品総数91点で、前年度に比べて、出品者は6名、出品数では21点増となりました。また、一般出品者22名の内7名が初出品者で、新たに三つの種目が加わりました。出品作品は昨年より更にレベルの向上が見られましたが、一般出品作品の力作には目を見張るものがありました。今後も一般出品者に継続して出品していただけるような働きかけをして行くことが次回に向けての課題となります。

展示については、それぞれの作品がその個性を発揮できるように配置しました。全体的には、落ち着きのある雰囲気となるように工夫し、特に、来館者にとって鑑賞しやすい展示会場になるよう心掛けました。

賞、推薦については、厚生労働大臣賞 西出眞さん（ガラス部門）、工芸撰賞 瀬谷慶重さん（陶芸部門）、功労賞 中村きよさん（人形部門）、そのほか10名の皆さまが受賞。会員推薦1名、準会員推薦3名、会友推薦3名（いずれも染織部門）皆さまおめでとうございました。殊に、永年にわたり新構造社にご尽力いただいている中村さんの受賞は、工芸部にとりまして大変喜ばしいことでした。

ギャラリートークは、各部とも同日に設定して実施しました。外部審査員の先生の講評を伺えたことは大変有意義でしたが、作家同志の絆を深める時間を多く持てなかったことが心残りでした。次回は、作家同志の絆を深める時間も多取れるように運営の工夫をしたいと思ひます。

「巡回展について」

8月1日から6日まで、広島県立美術館 県民ギャラリーにて開催されました。工芸部からは、推薦された4名（押し絵、金工、染織、和紙絵）が出品しました。巡回展は遠方で開催されることもあり、立体作品は対象外となっています。出品できるのは、一部の作品となりますが、今後も工芸部として参加してまいりますので、推薦された場合はご協力いただきますようお願いいたします。

「第90回記念新構造展にむけて」

先日、岡田美術館で喜多川歌麿の「雪月花」の三部作を鑑賞してきました。芸術は時を超えてなお感動を与え続けられるものであることを実感しました。

第90回記念展という節目を迎えるにあたり、その歴史に身を置けることを幸運に思ひます。充実した展覧会になりますように、皆さまの更に力のこもった作品を期待いたします。



写真部

常務理事 谷本 清彦

「本年度の活動状況と抱負」

第89回展は6月会期に戻りましたが盛会に無事終了しました。

写真部では、本年度役員改選で本橋やよい委員が新任し、本部事務局及び展覧会委員会で活躍していますので、部員は

各部報告 3

ご協力願います。

本展では出品者・出品点数共に増加し、点数は連続100点超を達成しました。これは部員の勧誘努力による一般入選が大きく寄与しています。作品の質もレベルアップ要請に応え、大判写真が約4割あり、総体的に良好で前回よりも整っていました。

今回特筆に値するのは、「新構造賞」を会員白石 荘氏が受賞し、写真部として連続受賞となりました。外部審査員による最終審査で、高齢ながら降雪の翌朝作品を予測して遠方まで出かけ千載一遇の撮影に成功、モノクロで印象を強調し評価されました。これは、部員にとっても励みで教訓になるので、これからの作品制作に励んでください。

展示については、今回から展示室が1階全フロアで各部同一階での展示となり観覧者にとって魅せる展示ができました。写真部は最終室で今回は出口扉を閉鎖し、資格別の展示室入替によりバランス良く各室共良好な展示となりました。

第5回東京展は会友まで出品資格を拡大、写真部では出品者・出品点数共に増加、会友は6名11点、全体20名37点でした。

展示は、写真部を含む4部は合同展示で、壁面延長が限定され写真部は公平性を尊重し、当人作品間隔なしで一段掛けとしました。次回は可動壁面増設等により余裕のある展示で対応したいと考えています。

写真部在籍者は新会友8名を加えて64名と漸増しており、一般出品者も現在安定しているので部員の増加に努めていきたい。

次回本展は第90回記念展で新構造社の認知度向上のための各種記念事業を実施し会の活性化に繋げるためには、部員の参加と協力が必要につき作品制作と併せて準備をお願いします。



全国支部 常務理事（支部連絡委員）瀧川 隆
「全国支部長会議（第90周年記念新構造展）について」

平成29年度の全国支部長会議は6月18日本展審査業務終了後、東上野区民会館で開催されました。

全国支13支部の内10支部、本部からは中谷時男理事長、谷田川卓副理事長、齊藤猛事務局長、工藤一二展覧会委員長が出席して大変活発な有意義な会議になりました。今年度の主な議題は、第90周年記念についての意見交換でしたが、作品の内容充実、また記念行事は質素必要最小限にて実施した方がよい、チャリティー展を行い財源確保等の細部まで踏み込んだ意見交換がされました。また東京展については第1節目の5回展が終了し、第2節目となる6回展の開催について、今回は第90周年記念選抜展にして各支部協力のもと開催の案が検討されたましたが、地方支部からは搬入費用問題、遠方なので会場に行けない等の意見があり、各支部の意見を踏まえて本部で検討する事になりました。

全国支部展の名称について、第90周年記念〇〇支部展とする事を確認しました。

また、支部記念展に本部からの受賞作品展示の希望アンケートを取りましたところ、以下の通りの回答でした。

千葉支部（5点程度）神奈川支部（5点程度）長野支部（5点）茨城支部（3～5点）

和歌山支部（本部に従う）広島支部（巡回展60点）香川支部（6～8点） 以上



巡回展作品

支部活動状況・今後の抱負 1

【岩手支部】 支部長 梅沢空世

1. 今後の抱負

支部活動の中心は、支部展の開催です。

今年、支部長はじめ3人の退会者が出て、本展出品者が4人になってしまいました。OB会員7人と併せて支部会員11人です。巡回展を受け入れるだけの実力が危ういというので、自前でこの会場を埋めて“この会場での最後の支部展”という思いで開催することにしました。

一方、新しいメンバーが加わり、再興の芽生えもあり、今後に期待するものも予感しております。

2. 支部会員の活動状況

- 梅沢空世 3月：現代作家小品展 AN MUSEAM VI
アートスペース リビーナ（表参道）
5月：Affordable Art Fair Hong Kong
Hong Kong Convention an Exhibition Centre
9月：19TH CONTENPORARY ART FAIR
ART INTERNATIONAL ZURICH 2017
スイス PULSS-GIESSEREI HALLE
- 菅原敏子 2月：いわい美術展 一関市文化センター
7月：新構造神奈川展 アートガーデン川崎
11月：裸婦外スケッチ展 一関なのはなプラザ

- 高橋真司 1月：ボンヌフ展 エスポワール
2月：岩手県教員美術展 エスポワール

【栃木支部】 支部長 豊田陸郎

1. 本支部の活動の特色は、地域ごとに結集された絵画研究グループの定期的制作研究会の開催である。

- (1) 県北絵画研究会 代表：星嘉子、小林睦子、村田澗子
- (2) 那珂川絵画研究会 代表：横山昇、那珂川町、元老故塚原一雄氏（俗称チャチル会会員）の後を引継ぎ地域の賛同者を募り、月1回研究会を開催
- (3) 横堀絵画研究会 宇都宮市ABCビル内、同絵画教室グループ、毎週1回主な作品を公開
- (4) 新構造社絵画研究会 宇都宮市または大田原公民館にて5月、出展作品を中心とし会員相互の批評会

2. 今後の抱負

新構造栃木支部展開催の基本姿勢

期日：平成30年9月15日(土)から5日間

会場：那須野ヶ原ハーモニーホールギャラリー（大田原市）

長年利用してきた県総合文化センターが平成30年10月から3年間改修工事により閉鎖のため恒例の栃木支部展を会員の存在する地方都市で巡回開催とする。また、集客率減少などの地勢リスクを考慮し、運用方法の改善を

支部活動状況・今後の抱負 2

図る。

- ・ 出展数を同系列作品4点（大2小2）とし「作家の世界」や「郷土の共存感」に触れるなど、親しみ会場でのギャラリートークや作家との対話の場を設けるなどして、来館者が共感的理解を深められるようにする。
- ・ 地方都市開催の特性を活かした数より質を重視した価値ある行事にしたい。

【茨城支部】 支部長 西野和治

茨城支部は本展に出品する作品は元より支部展、県展、市展等に力作を発表しております。

会員の作品は多くの鑑賞者に賛同と感動をいただいております。本年度は第90回記念展ということで力作が出品できる事と思います。

【埼玉支部】 支部長 古川泰司

1. 支部会員の活動状況

- (1)グループ展:埼玉県美術展(古川、神保、片桐)、さいたま市展(小國)、さいたま市中央区美術家協会展(小國)、川越市美術協会展(古川他3名)、上尾市美術家協会展(伊藤)、桶川市美術会絵画展(米屋)、日高市美術家協会絵画部展(神保)、大洋美術家協会展、本明会美術協会展、日本油彩創作作家協会展、新構造川越展、小江戸川越トリエンナーレ(古川他4名)、坂戸美術家協会展(加藤他3名)、新創彩西美術展(作山他2名)、五市美術家協会展(神保)、菱川賞展(神保)、福島県在京美術家協会展(作山)、我が心の旅路展(作山)、個の屹立展(伊藤)、水曜スケッチ会作品展(小國)、工芸とクロッキーの仲間たち展(小國)、SCENE2017(神保)、ユウカリ展(小林)、伊藤英治・須部佐知子二人展
- (2)個展:古川泰司、作山隆一、井口直也、原田茂の4名が開催

【千葉支部】 支部長 高橋美奈子

・ 支部長を仰せつかり2年目になりますが、県立美術館や教育委員会等への手続き、書類提出は3年目となり、大分慣れました。

ただ、千葉支部の役員はほとんどの方が本部の役員も兼ねているため、忙しく大変に思います。

・ 支部会員の活動状況

- (1)グループ展 千葉県展に多数出品、千葉市展、船橋市展、習美会展、平成美術会展、郷陽会展、佐倉美術協会展、その他個展、小グループ展を開催
- (2)各地域で何人かの方が教室を持ち、研修し生徒を本展に送り出している。

【神奈川支部】 支部長 瀧川隆

本年の下期の活動として、第33回新構造神奈川支部展（7月11日～16日）を例年どおり「アートガーデンかわさき」にて開催しました。出品者は70名で108点、入場者800名ほどでした。

昨年からの会員激減に対して支部委員会で対策を練り先ず二つの作戦を強化し、新しい試みとして①「一本釣り作戦」では日頃アンテナを張り出品者をあらゆる場面で勧誘する。②は絵画部門での「小品部門の設置」その結果①では意識して各地元での展覧会やグループ展で実施中に案内をして実際勧誘出来、②の場合は一般から10名が参加し、又その方々が本展にも出品希望も有り、この試みは成功しました。全体

的に客足が伸びなかったのは暑さが大きく影響したので次回は時期を検討し、実施も同会場を予定しているが、駅改札階上直結となるので期待は大きです。

その他の活動として市美展、浜展、個展、グループ展等、その一部を紹介します。

- ・ 絵画：6月～「個展」田村亮司/「アンデバンダン展」(青木他4名、浅地他5名、星川他5名)/「大月美術連盟展」(川邊)/「S/M展」(浅地、川邊、星川)/「相模原芸術家協会展」(小川、葉若)/「自由展」(浦野、亀ヶ谷、青山、青木、瀧川、葉若)/「油彩創作作家協会展」(瀧川、青木、荒井、浦野)/「73回浜展」(青木、青山、荒井)/「港の作家協会展」(瀧川、青木、荒井、浅地、浦野、亀ヶ谷、川邊、星川)/「サン展」(荒井、小野口、鏡、加藤、藤田)/「ミニアチュール展」(川邊、星川)

- ・ 工芸：「オープンスタジオ開催」(飯島)多くの方に染め、紡ぎ、織の体験スタジオ開催、「湘南P&P展」(宮脇)/「第55回大洋美術協会展」(飯島)/「富士山環境交流プラザ展」(飯島)

- ・ 「港の作家協会スケッチ旅行・真鶴港周辺」(10/11～10/12)

今年は前半が東京展、本展、支部展と大きな展覧会が続いたために後半は個々のG展に追われ、昨年度掲げていた2点（自分磨きの陶芸体験と絵画研究会）の支部会員の活動計画がありましたが、どれも手を付けぬままに残念ながら、終わろうとしています。来年はもう一度検討して実施に向けていきたいと思っています。

【長野支部】 支部長 丸田隆則

11月の写生会をもって今年の支部活動は終了いたしました。

支部の活性化、一般の参加者の増加を努めてまいりましたが、退会者の増加、新規加入者の減など厳しい状況にあります。

支部の活性化、一般の参加を進めるため長野県芸術祭参加事業にも加わり、秋の小品展を切り替え第24回展を公募にするなど、当団体の宣伝に努めて参りました。また、マスコミによる広報活動（写生会・講演会等）も行いながら予定事業を進めました。

先ず、第24回展（10月19日～24日）は、出品点数40点、来客数148名と雨の日が多く天候に恵まれなかった事も影響していると思いますが、新出品者は1名と残念な結果で終了しました。

- ・ 裸婦講習会（9月30日～10月1日）実施：参加者は延べ19名（内、一般参加者は延べ8名）

他団体の裸婦講習会に当支部からも3名参加しました。

- ・ 秋の写生会：2回とも天候に恵まれ絶好の写生日和となりました。

初秋の写生会（12名、内一般より4名）、錦秋の写生会（8名、内一般より2名）

会員の増加は他団体（県展、北信展）の加入者への取組等困難が伴いますが、今後も地道に進めていきたいと考えております。



支部活動状況・今後の抱負 3

【和歌山支部】 支部長 小川昭造

- ・第89回展は皆様の御陰をもちまして良い成績を残すことが出来ました。和歌山支部の後半の活動は市展、県展等に力を入れてまいりました。市展等は良い成績でしたが、県展の方は入選が50%なので難しいです。
- ・田辺市展：10月6日～8日 審査員：小川昭造
教育委員長賞：奥田紀子、近藤瑞穂
奨励賞：小川明美、柏崎泰子
招待出品：重石景子、近藤豊美子
- ・和歌山県展：11月17日～1月28日（地方展4か所、本展）
審査員：小川昭造 入選：近藤豊美子
- ・南出豊樹個展：11月8日～13日和歌山県民文化会館
また、500名の入場者で賑わいました。88歳の記念展としてお祝いの花束の贈呈もあり華やいだ個展でありました。

【広島支部】 支部長 益村司

第6回新構造広島巡回展を8月1日から6日の会期で広島県立美術館を会場に開催。

1,500人近くの入場者があり、多くの来場者からこの展覧会が無料なのか、広島で巡回展を実施している他の会派、元陽展、二科展よりも非常にレベルが高いとの声もあった。本部の精力的な取り組みに敬意を表したい。

原爆記念館で来日されていたイランの文化

雑誌編集長ヴァヒド・ジャリリ氏が新構造広島巡回展の取材をされた。日本における芸術作品の制作意図やあり方を作品の例をあげビデオを回しながら、作品毎に詳しく質問され、日本とイランの文化や芸術の違いを地元の雑誌で紹介されることとなった。会場内の挨拶文の英語訳の掲示と英語に堪能な支部会員の存在がこれを実現する運びとなった。新構造社を海外へアピールできるきっかけになればと期待している。

なお、懸案であった県北部の制作研修会を初めて実施し、今後の継続も計画され、支部会員の研鑽が期待される。また、本年も多くの支部会員が後述のように各種の展覧会に入選、入賞をした。

・支部会員の活動状況

- 第2回瀬戸内美術館大賞展 入選：橋詰真由美 甲斐君江 百本直子 松本千代 野口美佐子 大形久典
- 第2回 JAM 展 一休園賞：市川賢次
- 第40回記念グループ「集」展：嘉藤梢 寺本洋子 益村司 村重進
- 第5回広島新県美展入選：大形久典
- 第7回老いるほど若くなる展 井上賞：野口美佐子
- 第38回新庄学園美術部 OB 展：近藤たいわ 齊藤更生 佐伯孝之 小田朋義
- フランス、サロン・ドトーヌ2017入選、サロン2018入選：益村司 岩国ビエンナーレ2017錦の宴優秀賞：市川賢次



【香川支部】 支部長 岡 啓介

1. 支部会員の活動状況

- (1)コンクール出品
第5回青木繁記念大賞西日本美術展：奨励賞（岡）、第3回菱川賞展：菱川賞（岡）香川県展入選（小比賀）
- (2)グループ展
日本美術家連盟香川作家展（岡）、香川県美術家協会小品展（岡）、高松市美術家協会（小比賀）

2. 今後の抱負

本展出品者が減少している現在、一般出品者を増やす取り組みに努める。89回展においては、工芸部門に1名の一般出品者があった。来年以降の出品もお誘いしたい。新聞等への支部展開催情報の掲載依頼や本部賛助出品のPRなど認知度を高める努力をする。

支部展会場には、新構造社の紹介コーナーを設けて積極的にPRする

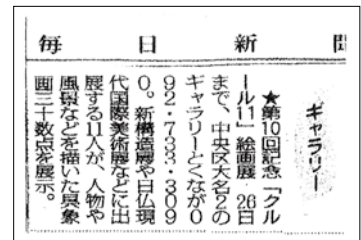
3. 第35回支部展開催

・平成30年2月6日～11日（高松市美術館）

【福岡グループ】 代表 松田悦子

1. グループ会員の活動状況

- (1)第21回日仏現代国際美術展にてサロン・プラン会長賞受賞（松田悦子）、本展出品7名
- (2)福岡でG展を発足させ10回展を迎えることが出来た。新構造会員と他の会の方々11名の参加により、第10回記念クルール展を11月22日から26日迄開催。参加者は朝野、西尾、宮原、土斐崎、松田豊子、松田真人、松田悦子、広島より益村司、範子夫妻の賛助参加により無事終了しました。



【沖縄支部】 支部長 平井順光

平成25(2013)年11月に沖縄支部が発足して今年5年目、新構造展は90回展記念の節目のおめでたい記念展である。

支部では会員の移動（転勤など）もあり、現在4人で活動しているが、例会に出席する会員は3人で、2017年の撮影の旅は2人で離島の祭りに出掛けた。

会員数を増やすべく努力をしているのですが、本土と沖縄という距離があるのではとったりしますが、何はともあれ会員を増やすことが専決です。



全国支部の活動 平成29年年度支部展開催状況

展覧会名	場所	開催日	巡回作品
第34回香川支部展	高松市美術館市民ギャラリー	平成29年 2月21日～2月26日	○
第31回茨城支部展	茨城県民センター	平成29年 3月14日～3月20日	
第47回長野支部展	長野県信濃美術館	平成29年 3月26日～4月2日	○
第47回千葉支部展	千葉県立美術館	平成29年 4月11日～4月16日	
第57回和歌山支部展	県民ギャラリー	平成29年 4月12日～4月17日	○
第33回神奈川支部展	アートガーデン川崎	平成29年 7月11日～7月16日	
第55回埼玉支部展	埼玉県立近代美術館	平成29年 7月25日～7月30日	
第6回広島巡回展	広島県立美術館県民ギャラリー	平成29年 8月1日～8月6日	○
第27回岩手支部展	盛岡市民ホール	平成29年 10月12日～10月15日	
第28回栃木支部展	栃木県総合文化センター	平成29年 10月16日～10月20日	

第33回神奈川支部展

会期 平成29年7月11日(火)～16日(日)
 会場 アートガーデン川崎
 後援 川崎市・川崎市教育委員会
 出品者 70名 108点
 来場者 800名



第55回記念埼玉支部展

会期 平成29年7月25日(火)～30日(日)
 会場 埼玉県立近代美術館
 後援 埼玉県教育委員会
 さいたま市教育委員会
 埼玉新聞社
 出品点数 118点
 来場者 1,215名



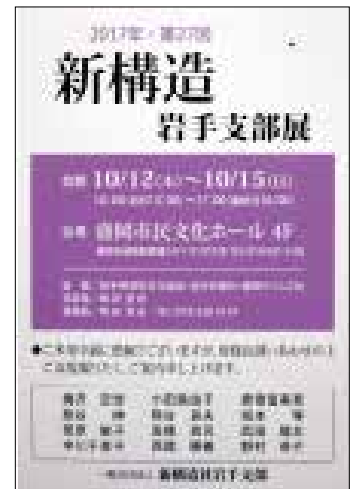
第6回広島巡回展

会期 平成29年8月1日(火)～6日(日) 出品者 47名 80点
 会場 広島県立美術館 来場者 1,430名
 主催 新構造社、中国新聞社
 後援 広島県教育委員会、広島市教育委員会 NHK広島放送局



第27回岩手支部展

会期 平成29年10月12日(木)～15日(日)
 会場 盛岡市民文化ホール
 主催 新構造社岩手支部
 後援 岩手県芸術文化協会・岩手日報社・盛岡タイムス
 出品者 11名 38点



第28回栃木支部展

会期 平成29年10月16日(月)～20日(金)
 会場 栃木県総合文化センター
 主催 新構造社栃木支部
 出品者 38点
 来場者 363名



第24回長野県支部小品展

会期 平成29年10月19日(木)～24日(火)
 会場 ギャラリープラザ長野
 主催 新構造社長野支部 長野県県民芸術祭2017
 出品者 11名、40点
 来場者 148名



長野県県民芸術祭 2017 参加事業
 一般社団法人
新構造社長野県支部小品展 (公募)
 絵画

日時 2017年10月19日(木)～24日(火)
 午前10時～午後5時30分
 (但し 最終日は午後4時まで)

会場 **ギャラリープラザ長野**
 長野市新田町1513-2
 (新田町交差点トイゴ前)
 電話 026-237-6610

入場無料

何卒ご覧賜りますよう、ご案内申し上げます。
新構造社長野県支部
 五郎丸 九田 啓則
 開催事務局：長野市若穂保町2371-1
 篠田信孝 電話026-262-6961

トピックス

1. 展覧会「没後33年 在日台湾人画家 何徳来の愛と死」

新構造社創立の功労者で運営委員であった台湾出身の洋画家「何徳来」氏の回顧展が台湾文化センターの主催により下記のとおり開催いたします。この展覧会は台湾美術研究家である森美根子氏が企画され2018年2月で没後32年に当たり33回忌を記念して開催されるものです。開幕式には中谷理事長他出席する予定です。会期は3月14日までの予定ですが、是非会場に足を運んで本会作家の作品や功績に触れてみてはいかがでしょうか。

会場：台湾駐日経済文化代表処・台湾文化センター 会期：2018年2月16日（金）～3月14日（水）予定
 港区虎ノ門1-1-12 虎ノ門ビル2階 午前10時～午後5時（土日・祝日休み）
 (メトロ虎ノ門駅9番出口徒歩1分) 出展作品：油彩、水彩、水墨、書、木版など30点
 (入場無料)



流る、月日

略歴

明治三十七年 台湾新竹に生まれる
 明治十五年 留学のため来日、東京牛込山吹小学校卒業、一旦帰台
 大正十年 大字受験のため再来日
 昭和七年 東京芸術学校西洋科（現東京芸術大学）卒業
 昭和八年 新構造社を創設し主催
 第一回公開展を新竹市の何徳来アトリエにて開催
 新竹水彩画会を併設、年四回新竹公会堂にて美術展を開催、
 推展美術教育に尽力する
 昭和九年 美術研究の為再度来日
 昭和十五年 新構造社第十六回展に初出品
 昭和十七年 新構造社第十九回展に会員として、「月」を出品
 昭和二十二年 以後毎年出品
 昭和三十一年 福台、台北市中山堂にて首次大規模展を開催
 昭和三十三年 新構造社の運営委員及び審査員に推挙される
 昭和三十三年 飛鳥会を主催、新橋飛鳥画廊、銀座松崎画廊、日本橋柳屋画
 廊にて発表展を開催（以後、毎年開催）
 昭和三十六年 国際版画ビエンナーレ展に「観鈴」を出品
 昭和三十八年 日本美術家連盟委員に当選、以後八年連続当選
 昭和五十年 佳徳会を主催、渋谷センタービル画廊にて第一回展を開催す
 る。以後毎年開催
 昭和五十二年 西新宿アトリエ主宰
 昭和五十九年 東京富士美術館に作品収蔵
 平成六年 二月一日逝去（享年八十二歳）
 平成十三年 台北市立美術館にて何徳来生誕九十周年記念展開催
 台北市国立歴史博物館に作品一三〇点収蔵、
 同時に何徳来展開催

何徳来先生

新構造社の先覚者である先生は、崇高な精神と卓越した技術により新構造社の発展に尽くされた偉大な存在である。本業は画家であり、作詩は余技である。先生の場合は画中有詩、詩中有画という言葉が当てはまるように詩画が渾然一体となっている。
 美にあこがれた誠の人であり愛、知、清、薰という字を好んで使われた。そこに先生の人生が凝集されている。

2. 第12回 南出豊樹 個展

第12回 南出豊樹個展（平成29年11月8日～13日）が和歌山県民ギャラリー特別展示室にて開催されました。連日100余名の観覧者で賑わいました。40歳から米寿を迎えられた今日までの作画人生を振り返り、大きな幸せを感じられたとのご感想です。（寄稿：戸田とし子）



那智の火祭 100F

- 【画 歴】 新構造社展(28回)出品
 新構造社展受賞 6回
 個展開催12回(県民ギャラリー他)
 1999年 和歌山テレビ依頼により1年間法廷画を描く
 2004年 紀州三人展東京銀座アサヒ・アートギャラリー
 2007年 第5回国際児童ふれ愛芸術展審査員
 2008年 第80回新構造社記念展審査員
 2012年 第84回新構造社審査員
 2013年 第85回記念新構造社展三枝賞受賞
 「那智の火祭」那智大社に奉納
 2017年 第89回新構造展東京都知事賞受賞
 県美術家協会25年勤続表彰
 新構造社審査員
 県美術家協会会員
 和歌山文化協会会員
 エトアール洋画会会員
 和歌山市ふれ愛センター絵画講師

3. 「鬼に魅せられて」ー 加々美和枝の和紙人形 ー

・おりがみ会館ギャラリー：2017.9.2~10.12

新構造展に出品して29年になります。

9年目に大津絵の「鬼の念仏」を作った時に、鬼に興味を持ち、以後鬼をテーマにした和紙人形を作ってきました。「なまはげ」を皮切りに日本の祭りの中で鬼面を被った「鬼太鼓」や「鬼剣舞」など、作り続けて20年になります。

この度、機会をいただき「鬼に魅せられて展」をおりがみ会館にて開催することが出来ました。

内外多くのお客様に興味を持ってご覧いただきました。（寄稿）



特集「共に成長する」

工芸部 理事 飯島敏子

私は第89回新構造展工芸部、染織部門に準会員3名、会友3名、一般6名の門下生と共に13名で出品しました。

染織の道を歩み始めて四十数年になりますが、多くの方々に染織の技術と物創りの楽しさを伝えたいと、昭和55年染織教室を開講しました。



教室では研究生がより良い作品を作り上げる為素材に拘わっております。

原毛を直接オーストラリアの牧場から輸入し紡いでウール糸にし、自家栽培の綿を紡いで綿糸に、絹は繭から糸にする等、吟味した素材を生徒に供与し、様々な作業工程（染色、紡ぎ、織り、仕上）について一貫した指導を行っています。



染織では「織る」作業を覚えるだけでも3年位かかります。さらに「紡ぐ」、「染める」も入れますとさらに長い年月を要します。このように長い時間がかかるため、いかに生徒の努力を継続させるかがとても大切なことです。その為に皆で楽しく作業が行える環境づくりを重視しております。

生徒を指導するにあたり、今の自分があるのは何故かを考えてみると、それは今までに沢山の素晴らしい先生方に育てて頂いたお蔭で、それが現在のわたしの美術人生の形成に繋がっているものと思っています。

私は幼少の頃病弱で、絵を書いたり、書道を習ったりの生活でした。小学校時代に私の絵が賞を頂き、褒めてもらうことで絵がとても好きになりました。高校に進学してからは、本物の美を表現するきっかけとなる素晴らしい先生方と出会うことが出来ました。版画で繊細さを、油絵で色彩表現を、デッサンで構図を学びました。各先生は未熟な私を我慢強く見守り、絶えず励まし、褒めて育ててくれました。これが私の美術人生を決める決定的なスタートとなりました。

染織の道へ進むきっかけは16歳の時に「ホームスパン」の技術を広めた先生の工房を訪ねる機会があり、そこで先生の紡いだ糸で織る体験をさせて頂きました。

たった1回の経験でしたが、それは今まで感じた事の無い色の面白さがあり感動致しました。



新構造社本部役員と



個展

その後も、絵画、版画、デッサンと続けておりましたが、ある時、以前経験した、たった1回の経験の染織の色が忘れられず、絵画を捨て、染織の道を選び著名な染織家に師事して修行を重ね、現在に至っております。

沢山の先生方のご指導から学んだ事は、個人が持っている魅力を見つけ出し、時間をかけてその魅力を伸ばし育てる事でした。

そのためには沢山褒めてあげる事でした。

現在20代から80近い方まで幅広く世代の異なる方々と毎日のように接しています。技術的にも始めて間もない方から、30数年も通ってくる方まで、全く異なる状態の方々と同時に接することで私も様々なことを学ばせて頂いております。



藤乃原染織研究会作品展

年配の方からは今までに培ってきた経験や知恵を、若い方からは私の知らない世界を教えて頂いています。

私と生徒の間には先生、生徒の関係は存在しなくなり和気あいあいとした空間となります。

そんな素晴らしい生徒さんに対して私は自分に出来ること、持っている知識を惜しみなく与え、褒めて自信を付けさせ、さらに具体的な目標を持たせて作品を創り上げる努力をしております。

その為に、自分たちの定期作品展や公募展には積極的に参加させるようにしております。

お陰で生徒達も立派な作品を創り上げ、新構造展、大洋美術協会展にて入賞、受賞の栄誉を賜るまでになり、確実に力を付け自信を持って創作活動を続けております。

これからも研究会の仲間と染織の道を切磋琢磨しながら歩みたいと思っております。

会議の報告

平成29年度 第5回理事会

1. 日時 平成29年5月19日(金) 13時～16時30分
2. 場所 新構造社 本部事務所
3. 出席者 理事16名 監事3名
4. 議題
第1号議案 89回展 審査委員会、審査方針、審査員の件 承認
第2号議案 展覧会委員会 業務分担の件 承認
第3号議案 事務局・会計分担の件 承認
第4号議案 理事・委員役割分担の件 承認
第5号議案 会員動向・支部長委嘱の件 承認
第6号議案 支部長会議開催の件 承認
協議事項 (1) 90回展構想特別委員会(仮称)設置の件
(2) 新構造東京展 第6回以降の課題対応
(3) その他取組紹介、提案

平成29年度 第7回理事会

1. 日時 平成29年9月15日(金) 13時～17時6分
2. 場所 新構造社 本部事務所
3. 出席者 理事14名 監事3名
4. 議題
第1号議案 会員動向報告の件 承認
第2号議案 中間決算報告の件 承認
第3号議案 警告書面の件 承認
第4号議案 規定改定委員会の件 承認
第5号議案 会報委員会開催報告の件 承認
第6号議案 「美術年鑑」掲載報告の件 承認
第7号議案 ホームページの改訂の件 承認
第8号議案 支部展開報告の件 承認
協議事項 (1) 90回記念事業の決定

平成29年度 第6回理事会

1. 日時 平成29年6月30日(金) 11時～12時40分
2. 場所 東京都美術館 3棟第7事務室
3. 出席者 理事16名 監事3名
4. 議題
第1号議案 会友・準会員・会員推薦者承認の件 承認
第2号議案 支部長会議事報告 承認
協議事項 (1) 巡回作品の承認
(2) 90回展構想特別委員会用意の提案

平成29年度 第8回理事会

1. 日時 平成29年10月25日(水) 13時～17時10分
2. 場所 新構造社 本部事務所
3. 出席者 理事13名 監事2名
4. 議題
第1号議案 会員動向の件 承認
第2号議案 岩手支部展・栃木支部展鑑賞報告 承認
第3号議案 規定改定委員会報告の件 承認
第4号議案 東京展選抜委員会報告の件 承認
第5号議案 90回記念展実行委員会報告の件 承認
第6号議案 会報委員会、下期号の件 承認
協議事項 (1) 「90回記念新構造展」事業計画・日程の確認
(2) 国立新美術館「第90回新構造展」案
(3) 「記念画集」の概要と作成費値上げ徴収の提案



平成29年度 第1回合同委員会

1. 日時 平成29年5月1日(月) 10時～15時
2. 場所 東京都美術館 スタジオ
3. 出席者 理事、監事、委員
4. 議題
(1) 事務局・展示委員会・審査委員会・会計担当からの報告
(2) 89回新構造展開催方針・展示会業務分担と内容の確認
(3) 担当スタッフへの業務依頼書作成

平成29年度 第2回合同委員会

1. 日時 平成29年7月19日(水) 13時～16時30分
2. 場所 上野区民館
3. 出席者 理事、監事、委員
4. 議題
(1) 89回展 纏め報告と反省点
(2) 90回展 記念展としての提案と協議
(3) 東京展の今後について
(4) その他 記念事業に提案あり

お知らせ 1

新年顔合わせ会

日時・・・平成29年1月21日(日) 16時30分～
 場所・・・グリーンパーク地下1階
 上野公園
 (西郷隆盛銅像の前のレストラン)
 電話 03-3828-5571
 会費・・・5,000円

会費とその納入方法について

1. 今年度第90回展に限り、年会費を下記のとおりといたします。
 (記念展として下記の理由によります。)
 ①今回は別紙のご案内により記念画集を発行するため、会友以上全員が画集掲載といたします。
 ②記念画集は画集委員会が検討し、従来より充実した内容にて発刊するため今回に限り掲載料を増額させていただきます。

・年会費の内訳(今回に限り画集掲載料増額を含む)

資格	会費	掲載料	掲載料増額	年会費計
理事・監事	40,000	10,000	10,000	60,000
委員	40,000	10,000	5,000	55,000
会員・顧問	30,000	8,000	2,000	40,000
準会員	20,000	8,000	2,000	30,000
会友	15,000	8,000	2,000	25,000

2. 休会制度について

事情により作品を出品できない状況になった場合は休会をすることができます。この場合、休会届(書式は任意)を提出し本部の受領を受け下記の会費を納入して下さい。

- ・委員(理事含む)・・・20,000円
- ・特別顧問・・・15,000円
- ・顧問・・・15,000円
- ・会員・・・15,000円
- ・準会員・・・10,000円
- ・会友・・・7,500円

(注)・休会の期間は2年を限度としています。
 なお、休会中の資格は継続されますので、復帰される場合はその資格で出品して下さい。

3. 納入方法について

会費納入は原則、振込となっています。
 ・年末の会報に同封される振込用紙にて振込んで下さい。

(注)・納入期限は翌年(平成30年)1月から4月末日です。
 ・重複振込防止のため、振込の控えを必ず保管して下さい。
 ・振込用紙を紛失した場合は、事前にご自分の資格と会費をご確認の上、下記の振込先に送金願います。

振込口座番号:

「00120-4-766521 一般社団法人新構造社」

記名料と入会金の納入について

本展出品の審査結果を受け各資格に推薦された場合、本部から通知を致しますので、内容を確認の上、授賞式までに下記の記名料を納入して下さい。

- ・会員推薦 記名料40,000円
- ・準会員推薦 〃 20,000円
- ・会友推薦 入会金15,000円

(注)・納入方法は原則郵便局から振込みとなります。
 (振込先は推薦通知書に記載)
 ・都合で振込できない場合は、会期中の授賞式までに事務所で受領いたします。
 ・授賞式までに納入頂けない場合は、推薦を辞退したものと判断する場合がありますので、ご事情がある場合は会期中事務所までご一報下さい。

人事関連

【本部発令】

平成29年6月 岩手支部長委嘱
 梅沢 空世(会員)

【平成30年 絵画部審査員新資格者】

新たに次の方々が、審査員の資格者となりましたので名簿に登録いたします。

尚、履歴や名刺等に役職としてご使用為されても差し支えありません。

- ・会員推薦後、15年を経過した審査員資格者4名。
 武田彩也珂(神奈川県)
 松竹智子(広島県)
 野村寛次(埼玉県)
 山内栄実(神奈川県)

【絵画部 委嘱審査員の選考について】

審査員の資格を取得しても即、審査に当る事は出来ません。本会は会員歴15年以上の方に審査員資格を与える制度を採っています。既に名簿登録者90人以上に達しており毎年、委員会に於いて搭載名簿から投票に基づいて10名前後の委嘱審査員を選出しています。投票による常連化を避ける為、82回展以降より出来るだけ多くの方々に審査に当たっていただけるよう配慮し、前回と前々回展に審査員を委嘱した方々を除いての選考方式としています。投票によって選ばれた方々には、本部より改めて第90回新構造展『審査員委嘱状』を送いたしますので、審査日にご出席の上審査に当たって下さい。

お知らせ 2

【会員動向 29年度分（平成28年12月1日～平成29年11月30日迄）】

退会者

H29年11月30日現在

部	資格	氏名	時期	事由
絵画	会員 正	宮崎 幸子	H28.12.28	一身上の都合
写真	会員	小塩 寿夫	H28.12.30	体調不良
工芸	会員	萩野 谷博	H28.12.31	一身上の都合
絵画	会員	片貝 三知男	H29.1.6	体調不良
絵画	会員	佐藤 みね子	H29.1.12	一身上の都合
絵画	顧問 正	木村 正則	H29.1.31	死去
工芸	会員 正	末武 光代	H29.1.31	会費未納
彫刻	会員 正	千野 満昭	H29.2.1	一身上の都合
絵画	会員 正	大野 喜代子	H29.2.1	一身上の都合
写真	会員	相葉 潔	H29.2.7	体調不良
絵画	会員 正	貴俵 富美恵	H29.2.12	一身上の都合
絵画	会員	丸山 保雄	H29.2.14	一身上の都合
絵画	会員	吉沢 康代	H29.3.10	一身上の都合
絵画	会員	奥山 時雄	H29.3.19	死去
絵画	会員	水口 暁子	H29.3.31	一身上の都合
絵画	会員 正	山仲 正明	H29.3.31	一身上の都合
絵画	委員	辻 忠雄	H29.3.31	一身上の都合
絵画	準会員	猪野 孝子	H29.3.31	一身上の都合
絵画	準会員	進藤 明美	H29.3.31	一身上の都合
絵画	会員 正	熊谷 良夫	H29.3.31	一身上の都合
絵画	会員 正	三枝 尚	H29.4.1	一身上の都合
絵画	会員 正	津軽石 信一	H29.4.1	一身上の都合
絵画	会員 正	浦山 幹司	H29.4.5	一身上の都合
絵画	会員 正	五月女 一夫	H29.4.5	一身上の都合
彫刻	会員	浦山 不二秀	H29.4.20	一身上の都合
絵画	会員 正	菅原 サキ子	H29.4.21	高齢の為
絵画	会員	田辺 賀代	H29.4.21	一身上の都合
絵画	会員 正	畑 順子	H29.4.30	一身上の都合

部	資格	氏名	時期	事由
絵画	会員	加藤 芳男	H29.4.30	一身上の都合
絵画	会員	正地 康子	H29.4.30	一身上の都合
絵画	準会員	福澤 昭典	H29.5.1	体調不良
絵画	会員 正	伊藤 昌子	H29.5.7	一身上の都合
絵画	会員 正	澤村 稔	H29.5.20	一身上の都合
絵画	会員 正	内田 秀子	H29.6.1	死去
絵画	会員	堀江 悦子	H29.6.1	死去
絵画	会員 正	井原 輝義	H29.8.31	一身上の都合
絵画	会員	滝尾 秋子	H29.9.18	体調不良
絵画	会員	山下 功	H29.9.23	高齢の為
絵画	会友	大木 淑男	H29.9.24	体調不良
工芸	会友	谷野 黎子	H29.9.25	体調不良
絵画	会員	鈴木 浩二	H29.10.1	体調不良
絵画	会員	横張 金吾	H29.10.12	一身上の都合
絵画	会友	岡島 善夫	H29.10.16	一身上の都合
絵画	会員	尾崎 正人	H29.11.10	一身上の都合
絵画	会員	山根 敏武	H29.11.18	一身上の都合
絵画	会員	有馬 栄子	H29.11.20	介護
絵画	会員 正	猪狩 操	H29.11.30	会費未納
絵画	会員	香取 弘道	H29.11.30	会費未納
絵画	会員 正	小林 進	H29.11.30	会費未納
絵画	会員 正	津村 泰子	H29.11.30	会費未納
絵画	会員	中野 潔	H29.11.30	会費未納
絵画	準会員	田山 靖子	H29.11.30	会費未納
絵画	準会員	富田 桃子	H29.11.30	会費未納
絵画	会友	石原 乃生子	H29.11.30	会費未納
工芸	準会員	日高 真吾	H29.11.30	会費未納
工芸	会友	徳武 志げり	H29.11.30	会費未納

追悼の詞

画家木村正則氏を偲んで

小林満風



当会顧問の木村正則氏が去る1月5日ご逝去されました。享年76歳でした。

闘病生活4年半、投薬の甲斐もなく、そして故人の希望により自宅で奥様に看取られながらのご臨終とのこと。

私は氏には大洋美術を通じて30有余年にわたり交友と創作も含め多くの助言と導きをいただきました。

以下はその感謝をこめて故人の足跡をたどります。

氏が三菱マテリアルを1年早期に退職したのは、1枚でも多く絵を描きたい一心と聞きます。

数回訪ねたアトリエでは、拝見したデッサン、スケッチなどを含めた作品群の多さには圧倒させられたものでした。刺激をうけ、自分も見習わなければと訪ねる度にそう思いました。“描きたい”というその思いはこれを見れば誰でもそう思うに違いない。

更に、葬儀の日に遺族からお借りした故人の日記調の詩集からも、数十年にわたる先輩の創作活動の基調となった苦悩と葛藤が合わせて読み取ることができます。己に厳しく、他人には優しい人柄と生きざまがこの詩集

からも生前の元気な顔と話し声とともに蘇りました。

最晩年は病が視力の衰えや創作意欲まで蝕んでいたことは周知のことでしたが、病からトイレが近く外出の行き先が制限され行動範囲も狭くされ美術鑑賞などの機会まで奪われた気の毒な状態が続いたこともお聞きしました。

心象風景から抽象への挑戦など先輩が眼を輝かせそのエスキースを見せていただいたのがまだ昨日のことのようです。

“描きたい”の集大成が果たせなかった無念はあったと思います。私もそれが見られなかったのが惜しまれます。

今、儼に蘇ります。先輩の作品で祈りなどをテーマにした“染み入るブルー”が、そして“詩情豊かなヴァール”が。

私は先輩は画家として死ねたんだと思いますよ。

絵描きとして神様に一番近い仕事をしたひとりになれたんだと思いますよ。

合掌



「願い」

新構造社会報

名 簿 1

氏名	部	住所
理事長		
中谷時男	絵画部	千葉県習志野市
副理事長		
谷田川卓	版画部	茨城県鹿嶋市
常務理事		
西野和治	絵画部	茨城県日立市
斉藤猛	絵画部	千葉県市川市
工藤一二	絵画部	東京都台東区
関戸三郎	彫刻部	埼玉県川口市
宮脇豊子	工芸部	神奈川県藤沢市
谷本清彦	写真部	千葉県松戸市
原尚利	絵画部	東京都台東区
戸田とし子	絵画部	千葉県松戸市
安納剛一	絵画部	埼玉県川口市
瀧川隆	絵画部	神奈川県横浜市緑区

理事		
平鳥昭久	絵画部	千葉県千葉市若葉区
丸田隆則	絵画部	長野県長野市
越後瑤子	絵画部	東京都目黒区
片桐学而	絵画部	千葉県千葉市中央区
飯島敏子	工芸部	静岡県裾野市
益村司	絵画部	広島県広島市西区
石山匠	絵画部	茨城県那珂郡東海村

監事		
竹澤勝美	絵画部	神奈川県相模原市南区
作山隆一	絵画部	埼玉県鶴ヶ島市
米屋綾子	絵画部	埼玉県桶川市

委員		
平井順光	写真部	沖縄県那覇市
松田悦子	絵画部	福岡県福岡市早良区
神永大輔	彫刻部	茨城県北茨城市
加々美和枝	工芸部	千葉県船橋市
小倉重一	写真部	神奈川県鎌倉市
高村静江	版画部	栃木県芳賀郡芳賀町
浦尾智絵子	絵画部	茨城県水戸市
高橋美奈子	絵画部	千葉県佐倉市
高橋忠治	絵画部	茨城県那珂郡東海村
伊藤英治	絵画部	埼玉県上尾市
大浦秀尚	絵画部	千葉県柏市
田辺直美	絵画部	東京都板橋区
川邊和子	絵画部	神奈川県川崎市高津区
長島さかえ	絵画部	東京都台東区
青木和江	絵画部	神奈川県川崎市川崎区
岩澤秋弘	絵画部	千葉県成田市
大多和誠	工芸部	千葉県山武郡九十九里町
大類芳子	絵画部	東京都品川区
岡啓介	絵画部	香川県高松市香川町
小川昭造	絵画部	和歌山県西牟婁郡白浜町
川上千尋	工芸部	東京都台東区
河野辺文江	絵画部	埼玉県川越市
小鹿良太	彫刻部	埼玉県上尾市
小林満風	絵画部	埼玉県深谷市
佐伯孝之	絵画部	広島県山県郡北広島町
神保雅春	絵画部	埼玉県日高市

氏名	部	住所
寺内敏一	絵画部	東京都江戸川区
富田信明	絵画部	長野県長野市
豊田陸郎	絵画部	栃木県宇都宮市
内藤美智子	絵画部	長野県須坂市
西川くみ代	版画部	埼玉県越谷市
塙千恵子	絵画部	茨城県那珂郡東海村
平沼土史彦	工芸部	埼玉県秩父郡長瀬町
三浦康栄	絵画部	東京都葛飾区
村重進	絵画部	広島県呉市
本橋やよい	写真部	神奈川県横浜市都筑区
森靖男	絵画部	千葉県千葉市緑区
湯浅ふさ子	絵画部	千葉県千葉市稲毛区

特別顧問		
古川泰司	絵画部	埼玉県川越市

顧問		
門前由弘	絵画部	茨城県那珂郡東海村
吉野稜威雄	絵画部	神奈川県平塚市

名誉会員		
古丸健太郎	工芸部	兵庫県西脇市
小田津也二	絵画部	埼玉県北本市朝日
近藤たいわ	絵画部	広島県山県郡北広島町
酒巻敏雄	絵画部	東京都墨田区
本目雅己	絵画部	東京都目黒区

絵画部会員		
青山禮三	神奈川県相模原市南区	
赤穴悟	広島県広島市安芸区	
浅地富恵子	神奈川県川崎市高津区	
朝野裕子	福岡県福岡市東区	
阿部勲雄	埼玉県富士見市	
阿保宏	千葉県松戸市	
新井美代	茨城県日立市	
荒井令子	神奈川県横浜市港南区	
荒木千賀子	千葉県野田市	
荒巻信子	静岡県静岡市駿河区	
有田正子	東京都八王子市	
井口直也	埼玉県東松山市	
石山きよみ	千葉県野田市	
石渡敏弘	千葉県千葉市美浜区	
市川賢次	山口県岩国市	
伊藤静枝	東京都台東区	
井上陽子	埼玉県志木市	
井上浩子	和歌山県和歌山市松江中	
猪瀬守	千葉県市川市	
岩井克英	千葉県八千代市	
岩井雅義	埼玉県さいたま市南区	
岩橋勝	和歌山県海南市	
上杉紀恵子	茨城県日立市	
内田雅敏	千葉県山武郡芝山町	
内田幸子	千葉県山武郡芝山町	
内野行夫	静岡県磐田市	
梅木茂宣	大阪府岸和田市	
梅沢空世	岩手県盛岡市	
裏川恵子	大阪府高槻市古曾部町	

氏名	住所
浦野洋行	神奈川県横浜市磯子区
遠藤きよ子	山形県山形市
尾浦廣行	香川県高松市香川町
大内敬子	東京都中央区
大形久典	広島県呉市
大久保方子	埼玉県北本市
大島靖江	山口県岩国市
大塚万里子	大分県東国東郡武蔵町
大津留君枝	千葉県習志野市
大伴好子	埼玉県坂戸市
大橋康隆	神奈川県川崎市高津区
岡澤一生	千葉県習志野市
岡野晃子	東京都町田市
小川省三	神奈川県相模原市中央区
沖政長公	広島県山県郡北広島町
小國守弘	埼玉県さいたま市中央区
奥由紀子	和歌山県田辺市
小田原朝子	千葉県習志野市
小比賀正子	香川県高松市香川町
尾山七夕	広島県広島市西区庚午北
甲斐藍子	佐賀県多久市北多久町
甲斐君枝	広島県呉市
加来信俊	宮崎県宮崎市
嘉指大三	千葉県市原市
堅田芳	神奈川県川崎市
片柳守康	東京都台東区
嘉藤梢	山口県岩国市
加藤智美	埼玉県坂戸市
加藤久之	埼玉県川越市
加藤良久	神奈川県川崎市麻生区
金高勇	千葉県印西市
鎌田忠男	長野県上伊那郡南箕輪村
亀ヶ谷豊	東京都世田谷区
川栄健治	埼玉県蓮田市
川上京子	東京都府中市
川本三枝子	広島県呉市
神田昭夫	埼玉県さいたま市
木佐木卓郎	神奈川県横浜市青葉区
岸さとみ	千葉県鎌ヶ谷市
北浦孝真	千葉県船橋市
楠本美絵子	千葉県八千代市
工藤捷治	神奈川県川崎市麻生区
久保三代子	長野県小諸市
栗原豊	茨城県那珂郡
黒沢司郎	千葉県成田市
桑本順子	東京都小平市
高野千夏子	茨城県那珂郡東海村
後藤澄子	神奈川県川崎市多摩区
後藤佐代美	神奈川県川崎市
小林貞夫	東京都町田市金森
小林睦子	栃木県大田原市
古宮稔子	千葉県船橋市
小山博	千葉県千葉市花見川区
近藤敬一郎	東京都新宿区

氏名	住所
近藤瑞穂	和歌山県田辺市
斎藤更生	広島県山県郡北広島町
齊藤安生	佐賀県多久市
坂田喜久子	千葉県野田市
桜井喜美子	大分県中津市
桜井房子	長野県長野市
佐々木とし子	千葉県木更津市
佐藤正巳	千葉県千葉市中央区
柴田興志男	東京都足立区
清水連	神奈川県川崎市麻生区
新谷香織	広島県広島市安佐南区
進藤正和	東京都品川区
末田初太郎	広島県山県郡
菅野美穂子	広島県広島市
菅原敏子	岩手県一関市
梶田和久	埼玉県川越市
鈴木和子	栃木県宇都宮市
鈴木儀一	福島県いわき市
鈴木莊平	千葉県市原市
鈴木峯子	東京都台東区
鈴木紀郎	埼玉県ふじみ野市
関矢綾子	埼玉県さいたま市
瀬戸照子	東京都板橋区
高瀬忠男	兵庫県西脇市
高田裕子	北海道釧路市阿寒町
高橋勲	広島県呉市
高橋登	千葉県佐倉市
竹内知己	埼玉県入間郡三芳町
竹内洋子	長野県長野市
武田彩也珂	神奈川県平塚市
武田正彦	神奈川県平塚市
武田龍太	岩手県岩手郡雫石町
田尻敏行	大分県中津市
谷芳美	千葉県鎌ヶ谷市
谷口万起子	大阪府四条畷市
谷口淑子	東京都品川区
谷輪清	東京都台東区
玉川洋子	広島県山県郡安芸太田町
玉村記美子	神奈川県川崎市多摩区
田村亮司	神奈川県横浜市緑区
田屋耕作	千葉県君津市
多和靖展	埼玉県川越市
千葉房子	埼玉県北本市
佃日出雄	大分県中津市
津野正敏	香川県丸亀市綾歌町
筒井恭子	茨城県那珂郡東海村
堤貞男	千葉市花見川区南花園
手塚雅世	神奈川県川崎市麻生区
寺本洋子	広島県広島市安佐北区
土崎瑞子	福岡県福岡市早良区
刀馬明	山口県柳井市
利根川みちよ	東京都足立区
飛田洋一郎	東京都羽村市
富永ふき子	埼玉県川越市

新構造社会報

名 簿 2

氏名	住所
豊久拓造	広島県尾道市御調町
内藤郷子	神奈川県川崎市麻生区
中井幸子	和歌山県海南市下津町
中石 梢	広島県呉市
永島秀雄	千葉県野田市
中嶋芳子	東京都台東区
中村隆義	岩手県盛岡市
成瀬 忠	東京都港区
西尾奈々	福岡県福岡市早良区
西館勝義	青森県八戸市
西原 巖	長野県長野市
野口美佐子	広島県呉市
野村寛次	埼玉県行田市
野本 明	千葉県市原市
橋本定寛	埼玉県川越市
花鳥喜代子	千葉県佐倉市
濱口憲子	和歌山県和歌山市
濱田芳久	千葉県長生郡
原田 茂	埼玉県越谷市
葉若幸子	神奈川県相模原市南区
坂内 秀	福島県大沼郡会津美里町
百本直子	広島県安芸郡
平良木敏雄	埼玉県日高市
平田源也	兵庫県赤穂市
広田 勇	茨城県日立市
藤井増美	宮城県宮崎市
藤岡節子	千葉県木更津市
藤川豊晴	埼玉県川越市
藤田宏子	東京都府中市
藤本節子	千葉県八千代市
藤本敏子	千葉県野田市
冬野健二郎	佐賀県小城市
古川安曇	埼玉県川越市
星 嘉子	栃木県大田原市
星川誠子	神奈川県川崎市高津区
星野民子	埼玉県さいたま市緑区
穂積 彰	千葉県習志野市
細谷 一二	茨城県北茨城市
本目博子	東京都板橋区
前澤宮内	千葉県船橋市
前田美子	広島県大竹市
真下章弘	埼玉県北本市
榎 洋子	福岡県上郡吉富町
益村範子	広島県広島市西区
松尾邦彦	和歌山県有田郡有田川町
松田拓道	長野県長野市
松田豊子	福岡県糟屋郡宇美町
松田允子	和歌山県和歌山市
松田眞人	滋賀県大津市
松竹智子	広島県山県郡北広島町
松久崇恵子	千葉県船橋市
松前真奈美	広島県広島市
松村照子	千葉県習志野市
松本千代	広島県山県郡安芸太田町

氏名	住所
松本幸吉	神奈川県横浜市南区
真野史郎	東京都小金井市
真野佳子	東京都小金井市
丸山民生	栃木県大田原市
水谷清子	東京都渋谷区
三戸捷史	広島県呉市
南出豊樹	和歌山県和歌山市
三宅洋子	和歌山県和歌山市
宮原志司子	千葉県船橋市
宮原智子	福岡県福岡市早良区
村田澗子	栃木県那須塩原市
村中直美	山口県岩国市
村中恵子	山口県岩国市
毛利直道	東京都板橋区
本橋和彦	神奈川県横浜市中区
安田雄次郎	和歌山県和歌山市
安富由美子	東京都八王子市
柳沢文子	千葉県野田市
山内栄実	神奈川県川崎市幸区
山崎早苗	千葉県千葉市中央区
山下敬三	千葉県松戸市
山田由美	大分県中津市
山仲靖朗	東京都中野区
山根敏武	広島県呉市
山本啓子	茨城県ひたちなか市
山本裕也	和歌山県西牟婁郡上富田町
結城知子	広島県呉市
横越 弼	富山県高岡市
横田紀子	埼玉県川越市
吉田貴美子	東京都港区
吉田又三	東京都台東区
吉田 弘	埼玉県比企郡小川町
吉野妙子	東京都目黒区
吉野 實	埼玉県川越市
米屋雅尚	埼玉県桶川市
和田信子	大分県中津市
渡辺嬉子	千葉県野田市
絵画部準会員	
相葉當江	千葉県市川市
淡路美千代	埼玉県春日部市
池田 進	東京都八王子市
今林 潔	東京都町田市
岩館慶彦	千葉県千葉市若葉区
小野口和代	神奈川県川崎市
小野瀬 泰	埼玉県朝霞市
鹿子木 小夜子	千葉県山武郡横芝光町
片桐治雄	埼玉県坂戸市
菊地陸美	群馬県大田原市
正野京子	埼玉県さいたま市
鈴木きよ子	神奈川県川崎市
千光士道志	和歌山県海南市下津町
高澤晴美	埼玉県入間郡三芳町
高橋眞司	岩手県盛岡市
滝波敦子	福井県福井市

氏名	住所
滝 芳江	埼玉県比企郡
武田和子	神奈川県相模原市南区
立田房子	千葉県佐倉市
寺内孝子	新潟県上越市
船津雅子	千葉県佐倉市
松岡真喜子	兵庫県加古川市
村田 淳	静岡県浜松市東区
村山峰雄	新潟県十日町市
森 茂子	神奈川県川崎市
安 俊子	福島県いわき市
山口麻由美	広島県広島市
横山 昇	栃木県那須郡
絵画部会友	
遠藤 徹	千葉県旭市
遠藤 修	千葉県柏市
大月 二	千葉県船橋市
岡村美枝子	千葉県茂原市
岡本洋子	千葉県千葉市若葉区
小川明美	和歌山県
尾崎禮子	千葉県習志野市
鏡 玲子	神奈川県川崎市
草ヶ谷茂男	東京都台東区
久保敏子	さいたま市
斉藤敏子	東京都八王子市
斉藤雅史	埼玉県川越市
佐藤茂一	千葉県山武郡横芝光町
佐藤重次	神奈川県相模原市中央区
滋野敏子	神奈川県川崎市
関谷芳弘	埼玉県比企郡川島町
竹内 守	東京都八王子市
丹野朝二	千葉県成田市
辻 翼	神奈川県藤沢市
土居麗子	広島県東広島市
橋詰真由美	広島県安佐南区
濱田利子	千葉県長生郡
湯浅まつ代	千葉市中央区
鷲山令子	東京都大田区
渡辺恒博	愛知県豊田市
版画部会員	
石黒妙子	埼玉県狭山市
市川久雄	長野県須坂市
小田悦子	東京都文京区
小島福男	熊本県阿蘇郡南阿蘇村
木滝 巖	茨城県鹿嶋市
小塚幸子	栃木県宇都宮市
後藤高子	茨城県ひたちなか市
斉藤弘久	埼玉県さいたま市南区
清水俊二	鳥根県松江市
中田重稔	栃木県鹿沼市
中田シズエ	埼玉県所沢市
早坂宗太郎	山形県尾花沢市
山香和信	神奈川県相模原市
山口竹夫	栃木県鹿沼市

氏名	住所
版画部準会員	
光岡良之	栃木県芳賀郡
彫刻部会員	
市之瀬 信二	神奈川県茅ヶ崎市
大河原隆則	福島県郡山市
関戸孝子	埼玉県川口市
吉田幸雄	神奈川県横浜市
彫刻部準会員	
小田切恵子	長野県伊那市
彫刻部会友	
湯尾賢嗣	埼玉県川口市
工芸部会員	
井上由美	静岡県駿東郡小山町
伊藤八右	静岡県浜松市引佐町
白井麻美子	東京都三鷹市
大村嘉勝	静岡県富士市
鴨居錦子	長野県塩尻市
草間 冴子	東京都台東区
小林紀代子	長野県北佐久郡軽井沢町
櫻田久志	秋田県能代市
島袋常栄	沖縄県那覇市
上海みね子	長野県飯山市
鈴木豊子	東京都墨田区
瀬谷慶重	茨城県日立市
高木康恵	東京都杉並区
高際牧子	千葉県船橋市
寺崎宏光	千葉県香取郡多古町
戸田智昭	神奈川県藤沢市
中村きよ	東京都目黒区
西出 眞	東京都練馬区
西野春子	茨城県那珂市
藤井由紀子	東京都東村山市
升國欽司	埼玉県新座市
榎山直子	宮城県遠田郡美里町
横尾元子	東京都台東区
渡邊尚代	埼玉県さいたま市浦和区
工芸部準会員	
磯野洋子	大阪府大阪市浪速区
小岩井永子	長野県松本市
桑原輝男	神奈川県相模原市
越山良子	千葉県市川市
小松和加子	長野県須坂市
竹居美知子	東京都世田谷区
露木紀代美	静岡県沼津市
長澤由美子	静岡県裾野市
中村恵子	埼玉県さいたま市中央区
中山由美子	千葉県市原市
橋本勝代	埼玉県さいたま市緑区
原木孝子	静岡県裾野市
松本寿子	静岡県田方郡函南町
丸野内慎一	秋田県湯上市
森谷尚子	三重県松阪市
工芸部会友	
阿部美穂	神奈川県横浜市

名 簿 3

氏名	住所
岩上 純一	埼玉県秩父郡
薄井 キヌエ	長野県須坂市
菊米 玲子	千葉県市原市
久保田 直子	静岡県三島市
小島 美智子	静岡県伊豆市
佐藤 文子	長野県須坂市
鈴木 陽子	神奈川県相模原市
高橋 正子	静岡県沼田市
梅野 世津子	東京都世田谷区
増山 政子	長野県飯山市
南澤 みさ子	千葉県袖ヶ浦市
森 陽子	神奈川県藤沢市
門目 昌弘	宮城県栗原郡
山川 佳子	長野県長野市
渡辺 千加子	東京都目黒区

写真部会員

青木 一郎	東京都足立区
青木 士郎	東京都練馬区
青木 忠昭	佐賀県武雄市
赤川 治男	埼玉県新座市
新井 傳	埼玉県熊谷市
新井 房子	埼玉県熊谷市
池田 雄一	神奈川県横浜市磯子区
稲垣 俊彦	東京都練馬区
猪瀬 善文	埼玉県入間市
内田 寛	東京都小金井市
岡田 明久	神奈川県藤沢市
小田 朋義	広島県山県郡北広島町
小松原 司朗	神奈川県海老名市
佐藤 親正	埼玉県加須市
佐野 秋生	神奈川県藤沢市
椎名 眞珠子	神奈川県鎌倉市
庄子 和子	埼玉県川口市
白石 荘	埼玉県久喜市
杉本 絹枝	東京都江東区
高廣 俊夫	大阪府大阪市住之江区
萩谷 恭子	東京都北区
畠山 弘之	東京都練馬区
平松 一志	兵庫県神戸市垂水区

氏名	住所
堀 弘明	千葉県松戸市
牧野 匡邦	埼玉県川口市
松井 尚史	神奈川県平塚市
三宅 治子	神奈川県横浜市神奈川区
森 鳥一起	東京都文京区
矢澤 玉恵	長野県松本市
吉井 良平	北海道伊達市舟岡町

写真部準会員

浅倉 康典	神奈川県逗子市
荒井 文治	埼玉県加須市
卯木 郁朗	埼玉県久喜市
折川 文子	埼玉県熊谷市
果 音	茨城県古河市
城所 政博	神奈川県鎌倉市
久我 佳枝	神奈川県横浜市西区
小菅 尚則	埼玉県加須市
古峰 昌子	埼玉県加須市
柴崎 郁三	埼玉県北本市
寺内 孝子	新潟県上越市
林 雅代	千葉県千葉市若葉区

写真部会友

庵地 紀子	埼玉県北本市
猪狩 宣夫	千葉県千葉市中央区
伊藤 光子	東京都板橋区
大濱 忠市	沖縄県宮古島市
小松崎 武美	埼玉県北本市
近藤 勝彦	埼玉県さいたま市南区
斉藤 重雄	埼玉県羽生市
桜井 恒夫	埼玉県加須市
高田 君子	埼玉県羽生市
富田 秀子	埼玉県加須市
富永 優	東京都足立区
早川 幸夫	静岡県熱海市
一柳 和文	東京都三鷹市
古屋 幹一	東京都練馬区
松浦 洋	千葉県柏市
松村 昌彦	神奈川県横浜市港北区
松本 浩直	埼玉県吉川市
吉田 和夫	埼玉県北葛飾郡

地方支部一覧

神奈川支部	〒226-0013 神奈川県横浜市緑区寺山町 115-1-403
支部長 瀧川隆	TEL 045-530-4778
埼玉支部	〒350-1131 埼玉県越市岸町 1-48-12
支部長 古川泰司	TEL049-222-0430
千葉支部	〒285-0858 千葉県佐倉市ユーカリが丘 1-3-13
支部長 高橋美奈子	TEL 043-461-1074
長野支部	〒380-0935 長野県長野市中御所 1-29-4
支部長 丸田隆則	TEL 026-228-8593
茨城支部	〒316-0025 茨城県日立市森山町 3-43-1
支部長 西野和治	TEL 029-452-3476
栃木支部	〒321-0983 栃木県宇都宮市御幸本町 4863-36
支部長 豊田陸郎	TEL 028-662-8467
和歌山支部	〒649-2324 和歌山県西牟婁郡白浜町十九淵 421-2
支部長 小川昭造	TEL0739-45-3761
広島支部	〒733-0871 広島県広島市西区高須 4-17-5-2
支部長 益村 司	TEL 082-527-2117
香川支部	〒761-1706 香川県高松市香川町川東上 899-9
支部長 岡啓介	TEL 0878-79-3901
佐賀支部	〒845-0003 佐賀県小城市小城町岩藏 3142
支部長 冬野健二郎	TEL 0952-72-5373
岩手支部	〒020-0127 岩手県盛岡市前九年 3-19-65
支部長 梅沢空世	TEL 019-647-1000
沖縄支部	〒901-0152 沖縄県那覇市小祿 1474-4-2F
支部長 平井順光	TEL 098-858-8863
福岡グループ	〒814-0161 福岡県福岡市早良区飯倉 5-18-25-205
代表 松田悦子	TEL 092-865-0244



どんな鳥だって
想像力より高く飛ぶことはできないだろう
寺山修司

<編集後記>

冷たい風の中、両手を一杯に広げて山茶花が咲いています。
編集作業もお陰様で順調に進み、73号を皆様のお手元にお届けすることが出来ました。今年は第90回展と、おめでたい年になりました。一人一人が一年に一度その年の自分なりの精一杯の力のこもった作品で挑む会期、その作品を通して繋がる良き仲間との歓びの充実感、それを何と90回も重ねる事ができた新構造の歴史に感動しています。好きなロダンの言葉に「肝心な事は感動する事、愛する事、望む事、身震いする事、生きる事」とあります。どうかそんな今年1年でありますように。(田)

(会報委員：平島、安納、宮脇、大浦、田辺、神保、小林、本橋)